

鳥取神青通信

第2号

発行元
鳥取県神道青年会
編集
中部青年神職会

就任挨拶

鳥取県神道青年会会長

佐々木 克秀



六月の総会におきまして
会員各位の御推挙により不
肖私が会長という大役を仰
せつかりました。

もとより会長の重責を担
い得る知識も才能も持ち合
せない浅学非才、若輩者で
はございますが、諸先輩、
また会員各位の御指導と御
協力を賜りまして、全力を
あげて務め上げたいと思
います。

皇太子殿下の御成婚、そ
して二十年に一度の伊勢神
宮式年遷宮という誠に目出
度い年に会長というお役目
を頂いたことを感謝しなが
らも、その責務の重大さを
痛感いたしております。

さて鳥取県神道青年会は、

先輩方が斯世の尖兵として
立ち上がられてより前米原
会長に至るまでに築き上げ
られた輝かしい実績・成果
を更に少しでも評価の戴け
るような活動をしなければ
ならないと考えております。
神職は悠久の伝統を守る
事も重要な役割のひとつで
す。しかし時代は万物流転
守るべき事、変えるべき事
この激動の時代の中、人ま
かせでいいのですか。我々
自身の手でまず出来る事か
ら始めてみようではありませんか。全員の総力を結集
すれば、そう難しいことで
もないと信じております。

県役員紹介

会 長	佐々木克秀(西)
副 会 長	松田直也(東)
理 事	前田史宣(中)
門 脇 豊 文(西)	田 中 倫 明(東)
霧 林 敦(東)	田 中 明 博(東)
河 合 鎮 徳(中)	井 上 智 史(中)
池 本 靖(中)	高 橋 司 郎(西)
細 谷 博 高(西)	安 江 昌 史(西)
宇 田 川 和 人(東)	船 越 芳 昭(中)
青 砥 一 彦(西)	米 原 尊 仁(中)
直前会長	



神青協・中国地区 理事に就任して

中国地区理事

米原 尊仁

平成五年三月十二日、岡
山県の牛窓にて開催されま
した中国地区連絡会議に於
きまして、不肖私が神道青
年全国協議会(神青協)の
中国地区理事に選出されま
した。この地区理事は、中
国五県の持ち回りとなつて
おり、本年度は我が鳥取県
の当番県となっていました。
神青協には、地区選出の
理事の他に会長指名理事が
あり、その会長指名理事に
は、山口県の防府天満宮禰
宜鈴木宏明氏が就任されま
した。

地区理事の主たる仕事は
中央と地区の連絡係と心得
ていますが、固より私は浅
学非才の身であり、正にそ
の器で無いことは、重々承
知致しております。先輩・
会員各位の御指導御協力を
頂きつつ二年間の任期を全

う致したく思っております
ので、何卒宜しくお願い申
し上げます。

ところで、本年九月十一
日・十二日の両日米子市に
於いて開催されました、中
国地区氏青・神青合同研修
会は、地区理事として迎え
た訳ですが、県内会員各位
の地道な御努力によりまし
て無事終了致し、深く感謝
する次第です。

特に佐々木克秀県会長の
御膝下の西部青神の皆様は
は、一条乱れぬ連携と多大
な労力に依りスムーズな運
営を行って頂き、心より御
礼申し上げます。

最後に地区理事の立場に
於いてお願い致します。

平成七年三月に、神青協
中央研修会が、山口県で開
催される運びとなっており
ます。この研修会は、中国
地区でお受けした研修会で
すので、鳥取県神道青年会
に於きましても、御理解を
頂き御協力の程宜しく願
い申し上げます。

五年に一度の大事業 成功裡に終了

中国地区氏子青年神道
青年合同研修会報告

平成五年九月十一・十二
日米子市ホテルサンルート
米子に於いて第二十七回中
国地区氏子青年・神道青年
合同研修会が開催された。

主題『日本人を支えるもの』——祭る心・祈る心——趣旨国の精神的基礎が薄らぎ揺らぎつつ、諸外国に於て分裂崩壊の現状を見る今日日本国は何にその精神的基礎をおくのか。日本固有の民族信仰、不思議な生命力を持ち続ける神道、皇室の尊厳護持を統一義とし神道の基本的性格（こころ）の



佐々木先生講演

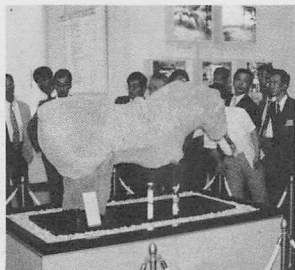
回復が必要であり、我々神道人は共に考えてゆこう！開講式では、県神道青年会佐々木克秀会長歓迎の言葉に続き、来賓として県神社庁米原尊昭副庁長・佐々木春美西部支部長等の挨拶を頂き講演にはいった。

講演では、国立名古屋工業大学助教授佐々木英昭先生の「巫女としての平塚らいてう」一般には知られていない一面の講話を拝聴し、分科会では氏子青年「氏子青年としてのまつる心」・神道青年「まつる心・祈る心を如何に伝えるか」というテーマのもと各県より意見発表、質問等意見が白熱した。また夕食懇親会では勇壮な「がいな太鼓」の披露の中、友情の輪を拡げていった。

二日目は、全国でも有名になった上淀廃寺へ、まず境港市立図書館長島中弘先生の「神将の謎」——古代人信仰の形態——という講話を拝聴し資料館の展示品出土

品の説明を受け、上淀廃寺近辺の風景を眺めつつ古代ロマンに思いをつのらせた。

また西伯郡淀江鎮座日吉神社正式参拝の後、社務所



資料館にて

にて閉講式を行なった。

県神青五年に一度の大事業であったが、先輩諸氏の暖かい御助成と会員の一致協力のもと、無事終了した。

若葦会会長

松田 直也

楽しみながらの活動を

「氏子青年会分科会報告」

境港市の白尾・西灘両神社氏子青年会と共に、鳥取県の氏子青年会の代表として参加いたしましたので、氏子青年会の分科会「氏子青年としての祭る心」の報

告をさせていただきます。

まず初めに、今回参加した各氏子青年会の代表よりそれぞれの会の事業活動報告や運営状況、問題点等の報告をした後、参加者全員による質疑応答の形で進行されました。

事業活動報告では、どの氏子青年会も数多くの神社行事の奉仕をこなしながら氏子町内親睦球技大会、例大祭前夜のカラオケ大会、バザー、稚児行列、家族懇親会等氏子青年会の事業も独自の工夫を凝らした活動を展開されており、今後の氏子青年会の活動をしていく上で大変参考になりました。

次に、運営並びに問題点では、一番多かった事は、運営費の捻出と入会者不足問題で、ほとんどの会が会費収入だけでは足りず、お祭りの際に模擬店を開いたり、大晦日に福引きやお御酒、ぜんざい、甘酒等を販売してその利益を運営費に

当てており、たくさんの方の事業をこなしていくには会費収入だけではたしかに難し



氏青分科会

いが、運営費の補填の為だけの営利事業ではなく、会員一丸となつて知恵を絞って汗を流しながら成功させれば会員相互の連携信頼がより一層密になるという利点があると思います。

会員拡大の問題は、各氏子青年会の共通の問題ですが、先ず現在の会員が楽しみながら活動を展開し、更には神社活動のみならず、地域発展の為の活動も活発に行つていけば、また別の展望が開けてくるのではないかと考えました。

賀茂神社氏子青年会 賀茂会
平成五年度会長 宮脇久司

東・中・西単位会の取り組み

東部若葦会

東部若葦会は、若手からベテランに至るまで幅広く活動できる会であります。

本会のもっとも重要かつ有意義な活動としては、夏季研修会が上げられます。神職としての必修科目である神社祭式行事作法、因幡相伝案、早朝には禊を執り行ないます。又、十一月には卓上研修会を行ないます。今年は、若葦会も三十周年を迎えることとなり、会の歴史をふり返る意味で、倉田八幡宮宮司の永江則英先生より「若葦会のあゆみ」という演題でお話しをして頂きました。我が会の副会長田中倫明氏からは、伊勢神宮式年遷宮に御奉仕された体験談をお話して頂きました。二月には新年初会合を予定しており、会員相互の親睦をはかります。我々会員一同は、この先の「三十周年記念事業」へ

むけて、大いに奮起している現在です。

西部青年神職会

西部青年神職会は、会員相互の融和向上、切磋琢磨を図り以て神社神道の興隆を期することをその目的としています。

主な活動は、勝田神社に於ける建国祭の奉仕と史跡めぐり等です。史跡めぐりは会員及び一般参加者との相互親睦と温故知新を目的として、西部支部の御支援を受けて毎年六月に実施しています。本会発足から執り行なわれ、形態の変遷はありますが、先輩会員各位の御努力のもと、本会の主要事業として継承されています。交通網の整備に伴い各種の小旅行が隆盛する昨今では、参加者の確保と共に目的地の選定に苦慮することが多くなりつつありますが、関係各位の協力のもと

と毎年三十名前後の参加者を得て存続しております。

今後も役員一同英知を結集し、発展的に継続していきたいと思っております。

中部青年神職会

中部青年神職会では、皇太子殿下の御婚儀を記念し、皇太子殿下御成婚記念植樹を、本年度の事業に掲げました。

当初は、初秋の予定でしたが、祭・七五三等の関係で集う時がなく、各会員の都合がつくのが、十一月二十三日だけという状況の中で実施しました。

当日は気温も低く、雨が降りしきる中、カップ・長靴姿で、籠守神社境内地の榊を、鎮霊神社本殿横に植樹しました。

身の清められるような天候の中での植樹、数年後には立派な榊に育つことと思っています。

平成5年度鳥取県神道青年会事業計画

重点目標

- 一、神道青年としての意識の昂揚と自己研修の実践
- 二、単位会の相互交流を進める
- 三、神青協活動方針事業計画に基づき活動を進める

事業

- 一、第二十七回中国地区氏子青年・神道青年合同研修会
- 二、県神青通信の発行
- 三、単位会における事業の推進

平成4年度決算及び5年度予算書

〔収入の部〕

科 目	5年度予算額	4年度決算額
会 費	111,000円	108,000円
助 成 金	200,000円	200,000円
寄 贈 金	1,000円	0円
繰 越 金	14,911円	7,786円
収 入 合 計	326,911円	315,786円

〔支出の部〕

科 目	5年度予算額	4年度決算額
総 会 費	20,000円	20,000円
役 員 会 費	15,000円	15,000円
事 業 費	30,000円	25,750円
対外派遣助成	135,000円	135,000円
事 務 費	15,000円	13,125円
神青協負担金	58,500円	57,000円
地区負担金	25,000円	25,000円
特別積立金	10,000円	10,000円
予 備 費	18,411円	0円
支 出 合 計	326,911円	300,875円

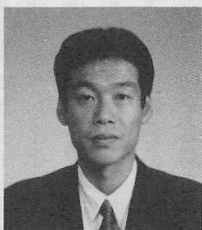
新入会員紹介

氏名 遠藤 隆

(えんどう たかし)

住所 境港市上道町六五三
奉務神社

上道神社



神職として早二年目を迎えました。まだまだ分からない事や失敗が多く、その度に「まだ二年生なのだから」という自己弁護の思いと、「もう二年生なんだから」という自己叱咤の思いが頭の中で交錯する今日この頃です。

皆様の御指導御鞭撻を仰ぎながら、早く一人前の神職となれるよう、頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。

氏名 池本 靖

(いけもと やすし)

住所 東伯町槻下七七
奉務神社

槻下神社



私が槻下神社福宜に就任しまして六年目も過ぎようとしています。もう新人とは呼んでもらえなくなる頃だと感じています。

何分兼職がゆえに、経験知識ともに何も持ち合わせていない自分ですが、一人の神職として、意義ある活動と自分自身の向上にと勤めていきたいと思つています。どうぞよろしくお願ひ致します。



氏名 大澤 祥之

(おおざわよしゆき)

住所 鳥取市弥生町一七一
奉務神社

鳥取大神社



昨年の七月に本務、鳥取大神宮の福宜に就任。神社人の一人として長い長い歩みの第一歩を踏み出しました。昭和四十八年生まれで、来年成人式を迎える目下のところ県内最年少の神主さんでしようか。

日常の奉仕の中でも私より、はるか人生の先輩の方々と相手にしなくてはならないこともあり、少々閉口しています。
あせらず大地を歩んで行きたいと思ひます。

事務局だより

兼ねてよりご案内申し上げております鎮物の幹旋を県神道青年会は継続事業としております。皆様方に少しでもお安く幹旋する様に努めております為、事業収入としては幾何もありませんが、薄利多売を持つて県神道青年会運営資金の一助になる様、会員一同努力しております。

何分会員数も少なく、その中で他県に伍して会の運営を行つて行く為には、皆様方のご助力を仰がざるを得ない窮状をお酌みいただき、ご協力を切にお願いする次第です。

申し込みお問い合わせは
東部／鳥取市古海四一

霧林 敦

中部／倉吉市大宮四二二

井上 智史

西部／米子市立町四丁目

佐々木 克秀

尚、事業運営に関するご意見等も併せお寄せ下さい。

お宮の榊

東京では、榊は自生の北限から外れている為か、榊に不自由し「しぶの木」を使用して居る神社が多く、驚くと同時に榊の大切さを痛感させられました。

そこで、玉串に使用した榊を挿木にしてみた処、根付き、二年余りで五十センチ程に育ち、その後、境内に定植し、宮司さん大変喜ばれました。通常の挿木の要領で育てれば育ちますので、苗木が手に入らない方は一度試されては如何でしょうか。

各神社の宮司さん方は榊を非常に大切にされ、使う枝も吟味を重ね、息子にも滅多に切らせない程だと聞いた事があります。

神社に育っている榊は、宮司さんや先祖の思いが籠った榊であり、奉仕に掛ける真心と共に、育くんでゆかねばならないと思ひます。

前田 史宣(中部)